



## 1、探究 2学年・代表者（班）発表会

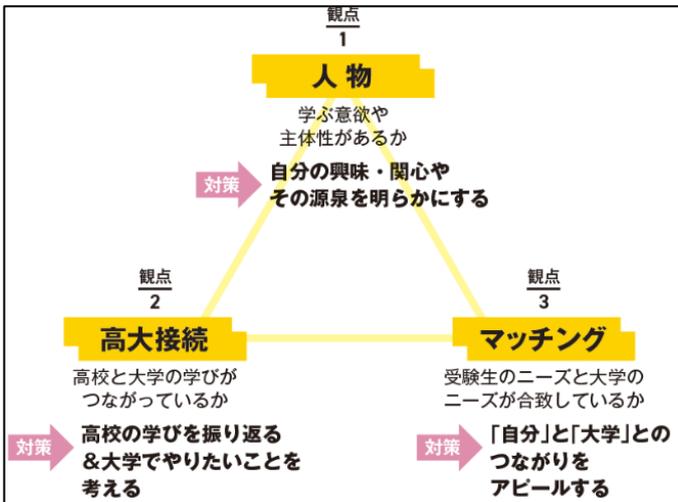


3年生の国公立大の試験も、明日から行なわれる後期日程を残すのみとなりました。すでに前期日程の合格者が発表され、中期日程の試験も先日行われました。3月20日（金）以降には、中期・後期日程の合格者が発表されます。それに関連して、3月中旬から下旬にかけて、受験した国公立大・私立大から、追加合格（繰り上げ合格）の電話連絡や受験ページでの発表もありますので、ご承知おきください。

10日（火）には、2年生の探究の代表者（班）による発表会が、1・2年生全員に対して行われました。今年1年間の探究活動の成果が発表され、特に1年生は来年度の探究活動の参考にしてほしいと思います。新年度に迎えるにあたり、学校推薦型・総合型選抜の受験について、前回同様に確認をしていきたいと思います。

### （1）学校推薦型・総合型選抜の受験に向けて

※旺文社パスナビ 参照



学校推薦型・総合型選抜では、基礎学力に加え、「人物」・「高大接続」・「マッチング」の3つの観点が重視されます。それゆえ対策も、この3点を意識し、強化することが重要です。

具体的には、以下の2点が求められます。

- 1) 志望校が求める人物像（アドミッション・ポリシー）や志望校で可能な学びについて理解を深める
- 2) 自分のやりたいことを実現する場として最適である理由を明確にする

例えば、〇〇大学を学校推薦型選抜で受験を考えている生徒が、志望理由書・面接で「**将来看護師になりたいため、貴学を志望しました**」と記載・回答したとします。確かに、その大学で学習し、看護師資格を取得することにより目標は達成されます。しかし、他の大学（専門学校）等でも看護師になることは可能です。**上記1）・2)**をふまえると、「**なぜ〇〇大学でなければならないのか**」という点を明確にしなければなりません。大学のアドミッション・ポリシーを確認し、「〇〇大学で学びたい」という理由をしっかりと自分の言葉で志望理由書に記載し、面接官にその思いを自分の言葉で訴えることが重要となります。ここの詰めが甘いと、志望理由書も面接も、誰にでも書ける（答えられる）説得力のないものになってしまいます。

一方、大きな視点で大学受験をとらえると、一般選抜の受験も見据えたうえで、**受験機会を増やす**という観点で学校推薦型・総合型選抜に臨むことは必要だと思われます。しっかりと受験戦略を立てたうえで、バランスなども考えつつ対策・準備を早めに行うことが合格を勝ち取るための第一歩となります。

## (2) 合格をつかむための5つのポイント

### ① 自分を掘り下げ、過去・現在・未来を明らかにする

人物評価では、学ぶ意欲、興味・関心、主体性などが見られます。対策の第一歩として、高校で何をしてきたか（過去）、その結果どのように成長したか（現在）、大学で何をしたいか（未来）を整理しましょう。特に、探究活動を参考にすることをおすすめします。

### ② 大学について調べ、望む人物像やできることを知る

学校推薦型・総合型選抜が大学と受験生のマッチングのための入試でもあります。志望校のアドミッション・ポリシーやホームページなどによく目を通し、大学が求める人物像や大学で可能な学びについて理解を深めましょう。

### ③ 自分のニーズと大学のニーズをつなぐ

説得力のある志望理由書や受け答えには、「なぜ」という根拠が不可欠です。自分自身と志望校が望む人物像、あるいは自分がやりたいことと志望校でできることをつなぎ、「いかに最適なマッチングか」を明らかにしましょう。

### ④ 一般戦略を含めて受験戦略を立てる

一般選抜の受験も見据えたうえで、どの選抜方式でどの大学を受けるか、受験戦略を練ることも重要です。例えば、学力的に厳しい大学を志望する場合には、一般選抜よりも学校推薦型・総合型選抜で受験した方が合格のチャンスがひろがる場合もあります。それぞれの選抜の受験対策の進め方やバランスなどを考慮したうえで、計画的かつ具体的な対策を進めていきましょう。

### ⑤ 学校の先生や保護者と密に連携する

提出書類を作成するためには、高校の先生や保護者との連携が不可欠です。特に学校推薦型選抜の出願に必要な「学校長の推薦」は、高校によって条件が異なるため、早めに先生に相談しておきましょう。

## (3) 合格に向けた対策

### 【対策1：志望理由書】 ～ブラッシュアップを重ね、「自分らしさ」が伝わる文書～

志望理由書作成のポイント	
1	自分がやりたいことを深める
2	大学での学びを理解する
3	①と②を言語化し、つなぐ
4	志望理由書を書いてみる 「書く→フィードバックをもらう→ブラッシュアップする」のサイクルを5回ほど回す。

志望理由書では、「①自分がやりたいこと」と「②大学（志望校）での学び」がいかにつながっているかが重要になります。①を深めるために大事なのが【自己理解】、②を深めるために大学が公表している3つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー【教育課程の編成・実施の方針】、ディプロマ・ポリシー【卒業・学位授与の方針】）や大学のホームページなどを読み込み、「自分がやりたいことができる場である」と主張するための根拠を見つけましょう。

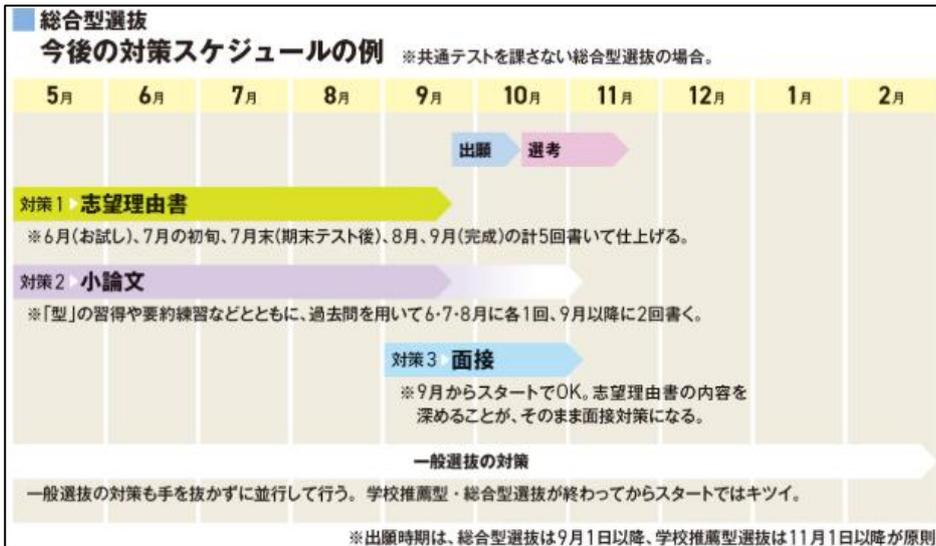
①と②がある程度言語化できたら、①と②のつながりを意識しながら志望理由書を書いてみます。書いたものは、保護者や先生、友人などの他者に読んでもらい、フィードバックを受けましょう。伝えたいことが正しく伝わっているか、伝わっていない場合はどう修正すればいいのかを考えて、「自分らしさ＝オリジナリティ」を出すことが大切です。

### 【対策2：面接】 ～志望理由書を徹底的に深め、踏み込んだ質問に備える～

面接対策のポイント	
→	想定内+αの質問をされることもある
→	志望理由を深掘りし、自分の言葉で語れるようにしておく
→	志望理由書をいろいろな人に読んでもらう
→	口頭試問がある場合は、専門知識を深めておく

面接では、志望理由書に書いた内容について深掘りされたり、違う角度から切り込まれたりします。そのため、志望理由書が重要となることは言うまでもありません。自分自身のことを、これまで自分がやってきたこと、これからやりたいことを自分の言葉で語れるように、準備をする必要があります。口頭試問がある場合には、専門的な知識も理解しておく必要があります。

#### (4) 総合型選抜に向けたスケジュール



総合型選抜の出願時期は9月1日以降であり、学校推薦型選抜よりも2か月早いので、3年次・1学期より準備を開始しなければなりません。志望理由書の作成にあたり、何度もブラッシュアップをしていけば、完成度の高いものが出来上がるはずですが、面接対策は9月頃から本格的に着手だと、遅いと感じられるかもしれません。

面接では志望理由書の内容を深掘するような質問がされるため、志望理由書の作成プロセスがそのまま面接対策にもなります。志望理由書の書いた内容や、自分の興味・関心のあるテーマについては、何を尋ねられても自分の言葉で答えることが出来るよう、しっかり準備をしてください。

#### ※ 志望理由書－悪い例文①

❌ 私は法学の分野に興味があるため、貴学の法学部を志望します。❌ 法学に興味を持ったのは、高校の先輩が貴学の法学部に進学し、その話を聞いたことがきっかけです。先輩からは、法律について学ぶことの重要性や魅力について聞きました。貴学の法学部では、法律について深く学べる環境が整っており、多くの法学の授業が開講されていると聞いています。

また、中学校の社会の授業で「日本国憲法」について学んだ時に、当時の先生が日本国憲法を深く学ぶなら法学部に行って専門的に学ぶとよいと話したことも印象に残っています。

長い歴史があり多くの法律家を輩出してきた貴学で専門的に法律を学ぶことは将来のキャリアに役立つと感じています。貴学で法律について学び、自分の将来に役立てたいと思っています。

#### 【理由】

- 当たり前のことを書いている
- 志望のきっかけに自分のことがなく、他人の勧めしかない

#### ※ 志望理由書－悪い例文②

私が〇〇大学の工学部を志望する理由は、まず子供の頃からロボットに興味があり、プログラミングを学んできたからです。中学校の時にはプログラミングのコンテストに参加し入賞したほか、そして自分でも電気回路を作ってきました。❌ 高校では物理部に所属して電気回路の研究を行い、高校3年生の時には県で入賞することができました。また、個人でもプログラミングを独学で学んできました。高校2年生の時には貴学のオープンキャンパスにも参加しました。

大学では情報工学を学んでAIなどの最新技術に触れることができるのが魅力的だと思います。将来はエンジニアとして社会に貢献したいと思っています。工学部で学ぶことで、自分のプログラミングのスキルをより磨きたいと考えています。このような理由から、〇〇大学の工学部を志望します。

#### 【理由】

- テーマがバラバラで一貫性に欠ける

### ※ 志望理由書－悪い例文③

× 私は大学で様々な学問を学びたいと考えているので、〇〇大学を志望します。私は〇〇大学の × オープンキャンパスに参加し、プロジェクトやパソコンが完備されたラーニングルームなど最先端の学びの環境があることに驚きました。大学の図書館も充実しており、最新の資料や書籍を利用することで、より深い学びができると感じました。さらに、キャンパスの雰囲気非常好く、多くの学生が自主的に勉強している姿を見て、自分もここで成長したいと強く思いました。

また、 × クラブ活動やサークル活動が盛んにおこなわれており、課外活動も含めて、とても充実した大学生活を送れることに魅力を感じています。貴学で学ぶことで自分自身の興味・関心を広げることができると考えています。将来は、大学で学んだ様々な知識を生かして働きたいと考えています。

#### 【理由】

→ 学びたい内容が不明確  
→ 学びの環境であって、学べる中身ではない

→ 課外活動なので、学びたい内容ではない

### ※ 志望理由書－悪い例文④

× 私が農学部を志望する理由は、現在農業分野に興味を持っているからです。今後大きな課題となることが予想される世界の食糧問題の解決に寄与できる学問こそ農学です。親戚に農家がいることから幼い時から農業に興味を持っており、持続可能な社会の実現に貢献する農業の大切さを肌で感じてきました。

× 農学を学ぶことで、土壌の管理、作物の育成技術など、身近な「食」についてのさまざまな知識を得ることができます。農業は単に作物を育てるだけでなく、地域社会の発展や自然環境の保全にも寄与するため、非常に意義深い分野です。

私は大学で農学をさまざまな視点から深めたいと考えています。作物の育成方法や病害虫対策、農業経済など、幅広い知識を身につけることで、将来にわたって農業の発展に貢献したいと思います。以上の理由から、私は農学部を志望しています。

#### 【理由】

→ 将来ビジョンがない

→ 一般論を話しているだけ